

| | | | | |
|----------|----------------------|-----|---------|----------|
| 授業科目名・形態 | 成人・老年看護学実習Ⅰ（慢性期・回復期） | 実習 | 必修・選択の別 | 必修 |
| 担当者氏名 | 佐藤純子・小畑千春 | 開講期 | 3年前・後期 | 単位数 3 |

【授業の主題】

成人期・老年期の発達段階や特徴を踏まえ、慢性疾患を持ち疾病のコントロールを必要とするその家族の健康問題を総合的に理解する。さらに看護過程の展開を通して対象の発達と健康レベルに応じた個別的な看護の実線方法を学び、看護の基本的な知識・技術・態度を取得する。

【到達目標】

実習目標

1. 疾病のコントロールを必要とする対象の発達課題や身体的・心理的・社会的特徴、疾病の受容過程を理解する。
2. 慢性疾患をもつ対象が疾病のコントロールをしながら、セルフケア能力を獲得して自立した社会生活を送るための援助ができる。
3. 慢性疾患を持つ対象へ看護過程の展開から個別的な援助ができる。
4. 慢性疾患を持つ対象の社会的問題を理解し、継続的な援助方法や社会資源の活用方法、ソーシャルサポートシステムを理解する。
5. 対象への援助における関連機関や各種機関の連携・協働の必要性と看護の役割や機能を理解する。

【授業計画・内容】

実習場所：大館市立総合病院

慢性期・回復期における患者を受け持ち、看護過程を展開する。また退院支援の実際も知る。

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

2年次の春季休暇時に臨地実習の事前課題を提示します。それ以外にも今まで学んだ病態や看護技術なども理解を深めておいてください。

【主な関係科目】

成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護学実習Ⅱ、老年看護学概論、老年看護学方法論Ⅰ・Ⅱ、病態治療学Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

NICE 成人看護学 成人看護技術(南江堂)、その他今まで使用した教科書など

【参考文献】

授業で使用した教科書や資料に加え、図書館などを活用して必要なものを自分で選んでください。

【成績評価方法】

出席状況および実習状況（50%）・実習記録（50%）などを総合的に評価します。

【学生へのメッセージ】

実習では、机上で学習できない貴重な体験から、多くのことを学ぶことができます。その機会を大切にしてください。